

9/14

日南小 りんご収穫体験

阿毘縁にある林富實代さん（下阿毘縁）のりんご園で、日南小学校の1年生と5年生の児童がりんごの収穫体験を行いました。

当日はあいにくの雨模様でしたが、8月にシールを貼って絵柄を付けたりんごを無事に収穫することができました。参加した児童は、採れたてのりんごを味わって、「おいしい!」「おかわり!」などと話していました。



9/27

日南小4年生 手話を学ぶ

日南小学校4年生の児童は、2学期から総合的な学習の授業で「日南町の福祉について調べよう」をテーマとし、障がいのある方や高齢者の視点に立った体験などの学習を行っています。

授業では、手話普及支援員の藤原正治さん、伊地知孝子さん、梅林千恵さん、吉田悦子さんの4名を講師に迎え、聴覚障がいについての説明を聞いたり、実際に手話の体験をしたりしました。

児童は、「こんにちは」「ありがとう」などのあいさつや自分の名前を手話で表現する方法を教わり、互いに自己紹介をしました。

参加した児童は、「手話に興味があったので今回勉強できてよかった」「自分の名前や好きなものを手話で表せてよかった」などと話し、最後はみんな「楽しかったです」という手話であいさつをし、授業を締めくくりました。



9/4

ボールと友達に！  
こども園サッカー教室

子どもたちのスポーツ体験を目的として、サッカー教室がにちなん十色山の上分園で開催されました。

この日は、3歳から5歳の園児4人が、県サッカー協会の山根卓也さんと日南ジュニアフットボールクラブの指導者・福田洋一さん、岡本健太さんの指導のもと、晴天の中楽しそうにプレーしました。園児は、ボールに慣れる練習から始め、ドリブルやシュートの練習をし、最後はゲームを行いました。

山根さんは、「（園児が）最初は緊張している様子だったが、元気いっぱい楽しんでくれた。運動やスポーツが好きな子どもたちが増えればうれしい」と話していました。参加した園児は、コーチに対し「また来てね」と話すなど、とても楽しんだ様子でした。

なお、9月7日には石見分園で、10月12日にはにちなん十色（本園）で、同様のサッカー教室が行われました。



9/14

中学生が「対話型鑑賞」を体験

日南中学校の生徒が、日南町美術館で対話型鑑賞を体験しました。「対話型鑑賞」とは、美術作品に対して感じたことや気づいたこと、考えたことを伝えたり、他者の感想を受け止めたりしながら美術作品への見方を深めることができるアート鑑賞プログラムです。

生徒は、1枚の絵を見ながら「何をしている絵に見える?」という進行役の問いかけに対し、「食事をしている」「フォークで食べている」「自分はスプーンに見える」など、思い思いの感想を話していました。その後はグループに分かれ、真剣に絵を見つめながら話し、観察力や表現力を磨きました。



8/31 9/1

自然の中でのびのびと！ 5年生宿泊学習

日南小学校5年生の児童が、多里地域で宿泊学習（自然教室）を行いました。この学習は、児童が自然のすばらしさやありがたさを感じるとともに、共同生活を通じて互いの連帯感を高め、今後の生活に生かせるようにすることを目的として行われているものです。

1日目は、林業アカデミー教育運営科長の小菅良豪さんの指導のもと、湯河の出立山キャンプ場で森遊びを行いました。児童はオニグルミの実を拾い集めて並べ、小菅さんから「この森にはオニグルミという珍しい木がたくさんある。実をかじった跡から、この森にどんな動物がいるか分かる」といった説明を受けました。児童はその後、それぞれに木登りをしたり昆虫を観察したりして自由時間を過ごし、「もうちょっと山にいたい」と話していました。

2日目は、新屋地内で川遊びとオオサンショウウオについての学習を行いました。この日はNPO法人日本ハンザキ研究所理事長の岡田純さんを講師に迎え、児童は自分たちがつかまえた川の生き物について、岡田さんの説明を聞きました。

2日間の自然教室で、児童は日南町の豊かな自然をたっぷり楽しんだ様子でした。



9/10

菅沢自治会  
鳥取県自主防災組織等知事表彰

菅沢自治会が「令和5年度鳥取県自主防災組織等知事表彰」を受賞しました。これは、自主防災活動に関し、特に優れていると認められる団体または個人に対して、鳥取県知事が表彰するものです。

隣接する南部町で災害時の避難経路が断たれた事例を踏まえ、菅沢自治会は令和3年度から南部町と広域避難の協力を行っています。令和4年10月には、避難対象者が実際に参加した広域避難訓練が行われ、避難者の受け入れを行う自治会の構成員や自衛消防団が、受け入れ手順などを確認しました。

こうした取り組みと、地域内のつながりや防災意識が高く、町が開催する防災行事などにも積極的に参加していることが評価され、9月10日に開催された鳥取県防災フェスタで、平井知事から表彰されました。



8/30

園児がしいたけについて学習

子どもたちの食べることへの興味や関心を引き出すため、今年3月にこども園で原木しいたけの駒打ち体験を行いました。今回は、その後しいたけがどうなっているのか、どんなふうになるのかを学びました。

町内で原木しいたけを栽培しているサワタ建設㈱の長谷川繁寛さんを招き、学習を行いました。園児たちは、しいたけが成長していく過程をイラストで学び、しいたけの木がどんなところでどんなふうになっているか、写真を見ながら長谷川さんの話を聞きました。

園児たちが駒打ちしたしいたけは、もう少しで収穫を迎えます。どんなしいたけが収穫できるか楽しみです。

